

広島大学法科大学院

小論文試験

2024年1月13日(土)

10:30~11:50

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて6ページです。
- 2 解答用紙は3枚、下書用紙は2枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、医療資源の配分問題について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（40点）

「医療においても同様の問題がある」（下線部【A】参照）とはどういうことか、またその問題を解決する手続きの3つの要件とは何か、人工透析の例を用いて、400字以上600字以内で説明しなさい（句読点も1字と数えるものとする）。

第2問（60点）

著者は医療資源の配分についての考えられるいくつかの選別の基準を挙げる。著者が挙げる4つの基準（下線部【B】、【C】、【D】、【E】）にはどのような問題が考えられるか、それぞれについてあなたの考えを論じなさい。

第3問（50点）

本文では医療資源の配分問題が論じられている。ところで、高齢者の人口増加にともない、介護要員や介護施設の不足が懸念されている。少子高齢化社会における介護問題において、ミクロの配分問題（下線部【F】参照）とマクロの配分問題（下線部【G】参照）は何を指すことになるだろうか、具体例を複数挙げつつ説明しなさい。